

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援センターやかげ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日	～	令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成	令和8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然豊かで静かな環境にあり、季節や自然を生かしながらのびのび過ごしながら情緒の安定や五感を育むことができる。	散歩や虫取り、水遊び、野菜作りや収穫たこあげなど季節や環境を活かした活動を行っている。	引き続き、保護者やこどもの意見を取り入れながら、活動の工夫を行っていく。
2	母子療育や保護者の送迎を行っているため、保護者との距離が近く、話や相談がしやすい。	母子療育や送迎時に、家庭や園の様子や困っていることはないかなど、一人一人との丁寧な関わりを心がけ、相談しやすい環境づくりを行っている。	座談会や参加日など保護者が参加しやすい工夫を行い、保護者同士のつながりを深めていきたい。
3	町内の事業所や保育所、保健師など関係機関との連携が取りやすい。	地域の親子教室や地域の園に出向いて行き、関係機関との連携を図っている。	引き続き、情報の共有を行い、利用児や保護者の理解を深め、支援の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経年による劣化や老朽化が見られる。 人数によっては、療育室が狭い。	経年によるもの。	必要に応じて修繕や掃除をしながら安全の確保や衛生面に留意する活動に応じて環境の工夫や見直しを行う。
2	住宅街の中に位置しているが、近隣の住民との関わりがほとんどない。	有事の際など、協力体制を取ることができかが分からない。	近隣住民の方との連携をどう取っていくか検討していく。
3	時間が短い。	サービス提供時間が1時間となっているため。	限られた時間の中での活動内容等の工夫を行う。